

回 覧

ごうだ交流センターだより

郷田コミュニティ協議会発行 平成30年度 創刊号 平成30年4月
江津市江津町995 ☎・FAX 0855-52-5566

地域の皆様には日頃から郷田コミュニティ活動にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、郷田コミュニティ協議会では「安全・安心・緑ゆたかな住みよい街づくり」をめざし、関係機関と協働してコミュニティ活動を進めています。近年、郷田地区においても、少子高齢化が進んでいますが、コミュニティ活動は人と人とのつながり、地域の絆。ふれあい活動や、青少年の健全育成・地域の防犯・防災・高齢者の見守り・活動などを行うとともに、それらに関する様々な情報をお届けします。

ごうだ交流センターだより創刊号を発刊するにあたり、新しい地域コミュニティのあり方方針をお示しいたします。

新しい地域コミュニティのあり方方針

住民自治の推進と新しい地域コミュニティの基本的な考え方

1 協働のまちづくりの推進する背景

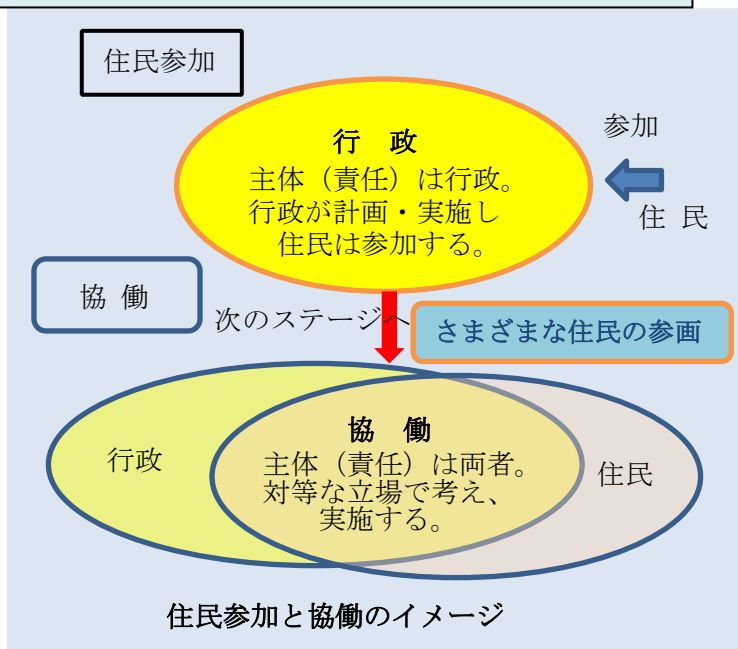
江津市では、人口減少、少子化、高齢化が進んでおり、これまでの仕組みでは解決できない課題が増えてきています。そこで、自分たちの地域は自分たちで守るということを地域づくりの基本に置き、住民と行政が役割分担し、連携・協力し合う関係を築きます。そして、地域と行政が事業や活動に対して継続的に取り組む「協働」の関係を一層強める必要があります。

2 新しい地域コミュニティの構築に向けて

郷田地区では、65歳以上の人口の割合が50%を超える地域が6地区あります。このような中には、助け合いの機能が低下し、安全。安心な暮らしや伝統行事などの存続が困難な地域が見受けられます。今後、ますます高齢化が進む中、地域づくりの実行組織の立上げが必要だと考えます。

3 新しい地域コミュニティが果たす役割・目指す姿

新しい地域コミュニティは、若者から高齢者、男性も女性も多様な住民が参画し、地域課題について調整し、対策を実施する機能が求められます。住民が地域づくり全般に目を向け、やりがいを持って活動し、住民それぞれが地域に愛着と誇りを持つことが期待されます。



住民参加と協働のイメージ



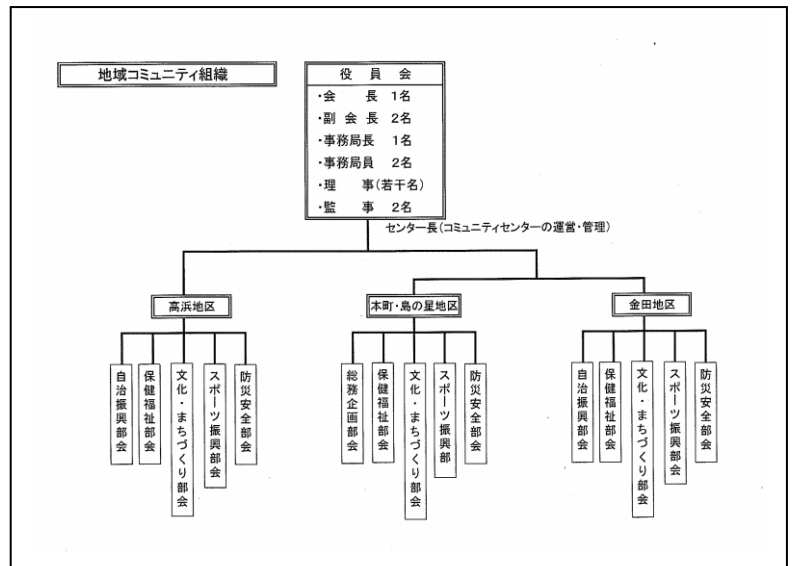
新しい地域コミュニティが果たす役割と目指す姿

地域コミュニティ組織・コミュニティ交流センターの役割

1 地域コミュニティ組織の機能と構造

地域コミュニティ組織は、多様な地域課題の解決や地域づくりを行うため、企画立案し、地域の合意を得て、それを実行するための機能と構造を備える必要があります。

地域によってその形は様々ですが、郷田コミュニティ組織の参考メーヅを示すと右図のようになります。



2 地域コミュニティ組織と行政の協働

地域コミュニティ組織が設立されても行政区は存続します。行政と地域コミュニティ組織の関係は、行政の活動が基本であり、地域コミュニティ組織が個々の行政の活動を補完しながら、地域全体を総合的に運営するというものです。また、補完する機能だけでなく、反転攻勢、元気に地域づくりを行う地域コミュニティ組織が行政と連携する。

3 コミュニティ交流センターの機能と役割

現在の公民館は、平成28年度末に廃止し、平成29年度からは、コミュニティ交流センターへ移行します。

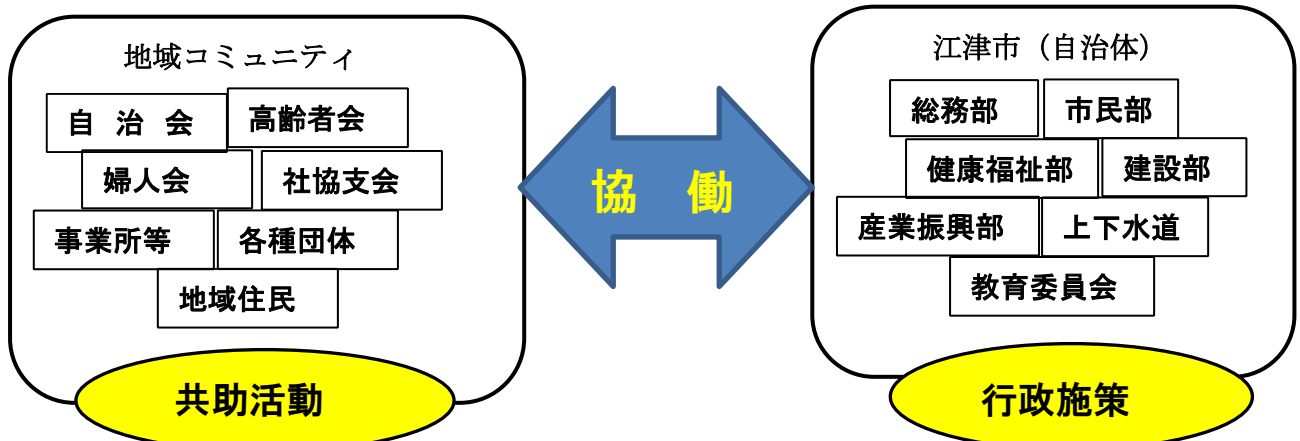
コミュニティ交流センターは、これまでどおり貸し館や住民のよりどころとしての機能を持ちます。さらに地域における様々な地域課題を解決するための住民自治の拠点として、その役目を果たす施設と位置付けます。

4 新しい地域コミュニティと行政との役割

地域コミュニティ組織と行政は、お互いが連携し協働するパートナーの関係です。

地域コミュニティは地域の中心的組織であり、住民の合意形成の仕組みづくりが大切で、住民は、進んで地域づくりに参画し、日々の生活に関わる様々な課題を話し合い決定し、実施していく組織です。

行政は各地域コミュニティ組織と緊密に連携し、地域活動の推進・支援にあたります。また、職員の意識改革や縦割り行政を見直し、地域づくり支援体制を強化します。



地域コミュニティにおいて重点的に取り組む活動

「地域振興」「地域福祉」「地域防災」「人づくり」の4つの分野を地域コミュニティ組織が担う重点機能と位置付けます。これら以外の機能についても、地域の実情や意向によって、それぞれの地域コミュニティ組織が主体的に検討していきます。

地域振興

地域づくりを進める上でまず地域の魅力や課題を把握し、中長期的な視点で地域づくりの方向性を定めることが必要です。それを住民みんなが共有し、参画して取り組むことが必要です。地域を「守る」だけでなく、他地域住民との交流など、「攻め」の分野の展開も期待されます。

【期待される取組み例】

地域課題の発見・整理・解決
 広報体制の充実
 空き家情報の集約・情報発信
 地域の防犯体制の検討・整備



地域福祉

(写真: 高浜健康づくり)

地域に存在する生活課題は高齢者の日常生活の問題から災害時の要援護者の対応まで、幅広く増加しています。住民が、支援が必要な状態になっても安心してその地域で暮らすためには、地域住民が主体的に、共に支えあう地域づくりを推進していくことが重要です。

【期待される取組み例】

気軽に集まれる居場所づくり
 地域の支え合いマップづくり



地域防災

大規模災害時の応急対応や復旧などには、地域コミュニティが大きな役割を果たしますが、人口減少等で単独の地域では自主防災活動を行うことができないところが増えつつあります。

新しい地域コミュニティが地域の活動を補完し、地域の特性を踏まえて地域をまとめていくことが大切です。

【期待される取組み例】

防災意識啓発や自主防災の育成
 防災訓練や救急救命講習の開催
 避難ルートマップの作成



人づくり (写真: 子供たちによる弁当配り)

社会教育に対する意識の低下、少子化により地域における子どもを取り巻く環境の変化、子育てに関するニーズの多様化などの課題があります。

「社会教育」と次世代育成を通じて、ふるさとに愛着を持ち、地域の魅力を次世代に伝える人づくりを進め、持続可能な地域を実現することが期待されます。

【期待される取組み例】

コミュニティセンターでの生涯学習
 人権学習の推進
 地域の人材発掘・お宝探し



郷田コミュニティ協議会各部会の活動方針(案)

1. 自治振興部会：

各自治会の自主性(独立)を尊重し、個々の自治会活動への関与はできるだけしない方針で、ただ、スケールメリットが活かせ、郷田地区として自治会が一体感を保ち、各団体と協力しておこなう事業等、例えば、「盆踊り」「敬老会」等を実施する。

各関係部会と連携を取り、地域の環境美化を推進する。

各コミュニティに関する調査・研究し地域における課題解決に向かっての調整を行う。まちづくりに対する住民意識の向上に関する活動。

2. 健康福祉部会：

関係部会、関係団体と連携し、健康づくりの推進。「ふれあいサロン」「健康教室」「敬老会」「みまもり訪問活動」。

子どもから、高齢者、それぞれの年代にあった健康づくりとスポーツ活動を通して高齢者にやさしく、子育てのしやすい環境づくりを推進する。

高齢者・障害者福祉の向上、子育て支援の充実。

3. 文化・まちづくり部会：

各関係部会・関係団体と連携し、安全・安心で美しいまちづくりの推進。文化活動による地域活性化の可能性を見つける。

4. スポーツ振興部会：

各関係部会と連携を取り、体育協会事業の充実を図る。グラウンドゴルフ大会、ウォーキング・各種軽スポーツ等を行い健康づくりの促進。

5. 防災安全部会：

郷田コミュニティ協議会の自主防災組織を作成し、自治会単位の避難計画作成及び各種防災訓練等のアドバイスと指導。子ども見守り隊の充実・防災安全マップの作製、青色回点灯防犯パトロール隊の発足。

安全で住みやすいまちづくりを推進する。

防犯カメラ設置の推進



今年も、きれいに咲きました。

【編集後記】
 ごうだ交流センターだより創刊号の発刊にあたり、新しい地域コミュニティのあり方についての方針を示してみましました。
 二十九年度から郷田コミュニティ協議会が発足して1年がたちました。今年度から、各部会の活動によって使っていたたく実践事業交付金「独自事業費」が活用できるようになります。
 事業費の請求は、気軽にコミュニティ協議会にお問い合わせください。

《問い合わせ先》 ☎ : 0855-52-5566 (FAX兼)